



善正寺だより

〒:512-0902
三重県四日市市
小杉町1014
浄土真宗
本願寺派
善正寺
☎:059-331-1670
fax:059-332-0733

み仏の光を仰ぎ 智慧の光に導かれる



一年の半ばを過ぎました。私は病院通いをして間に、半年過ぎました。六月半ば、怪我のため延期していた右眼の白内障手術を受けました。白内障は普通、眼科医院に通院して手術されれば済むのですが、私の右眼は、簡単ではありません。赤ん坊(生後半年)の時胎毒が目に入って失明寸前になり、旧海軍病院での手術で何とか失明の危機を脱したような眼です。高齢化に従って角膜変性の症状がひどくなり、二重、三重に見えるほどで、0.1未満。今回大学病院で特別な手術を受けたのです。

優秀な先生方の懸命な執刀、手術により、角膜の濁りがかなり除去され、濁った水晶体を取り除いて新たに眼内レンズが挿入されましたので、だんだん眼が慣れて視力は回復するでしょう、と言われました。

皆さんよくご存じの「浄土和讃」に、「弥陀成仏のこのかたは いまに十劫をへたまへり 法身の光輪きはもなく 世の盲冥を てらすなり」とあります。意識すれば、「法蔵菩薩が修行を完成

我々が自分の眼でものを見ているつもりでも真実が全て見えている訳ではありません。明るい環境と見るべき眼の両方が必要ですが、その眼も自己中心的な色眼鏡で見れば、真実を見抜くことができません。生涯、煩悩の束縛から離れられない凡夫です。

み仏の光を仰ぎ、三毒の煩悩(むさぼり、いかり、おろかさ)の暴発を抑えつつ、智慧の光に導かれることが大切です。お医者様を始め、沢山の方々のお世話やご声援により、何とか日常生活に眼鏡付きで戻れるようになったことに感謝するばかりです。



善正寺
ホームページ



住職と坊守の
つれづれ日記

☆行事ご案内☆

盂蘭盆会(うらぼんえ)法要(12回目)

8月15日(土) 午前8時半 正信偈、焼香、



地元門信徒様、納骨堂利用者様、行事様、世話方様等
ご家族お揃いでご参詣下さい!

秋季永代経法要 9月20日(日) 午後1時半

講師:大竹輝道師(桑名) 今回から日曜一日だけ

お経開き20日10時半(招待者)、 日曜日午後が法座

一縁会テレホン法話 059-354-1454 三分法話

5時の鐘撞き 年中無休、誰でも自由に撞けますご褒美有

善正寺ホームページ、各 QR コードで過去の全ての寺報
と毎日更新ブログ『住職と坊守のつれづれ日記』閲覧可
ブローガー日平均500訪問、8年で57万人、お悩み相談可

新納骨堂後継者の無い方、墓でお困りの方へ個別納骨可

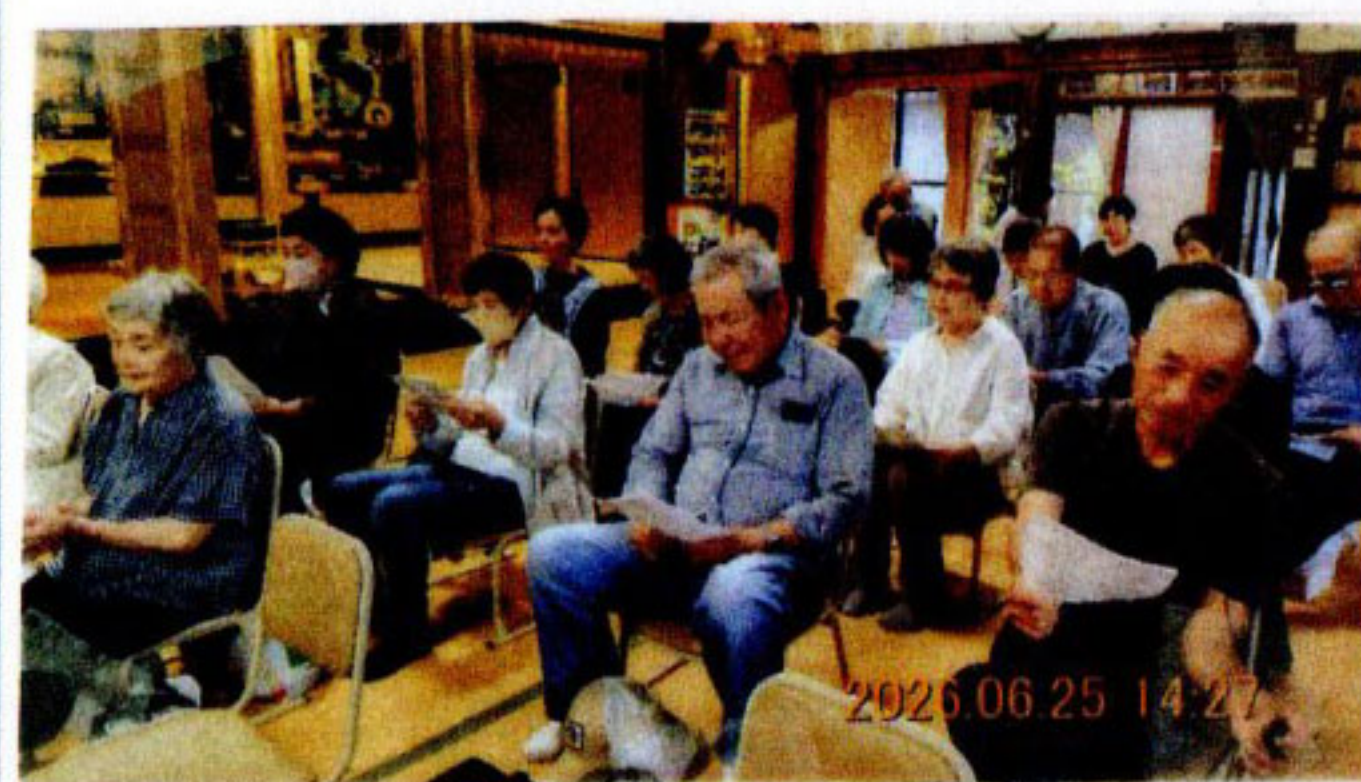
新共同墓境内地に記名プレート付共同墓、自由参拝可



6. 25第5回歌広場、40名ほどが参集



『栄冠は君に輝く』熱唱



散歩の仲間も参加、一緒に歌う



トライアングルの生演奏 気分最高



6・28本堂で年回法要。20名参集、最高齢は102歳 最年少は3歳

坊守スケッチ

私の還相回向とは？

先日ゴミ当番をした時です。今まで一度も会話したことのない人が突然

「以前アタの実家(家具商)で、食堂セツトを買った時、気に入った椅子が5脚しかなかった。相手をして下さったのがお父さんで、『お客さんはどちらから来られましたか？』と尋ねられ、『小杉です』と応え、『私の娘が小杉の寺に嫁ぎましたので、お近づきにもう一脚椅子をサービスします』と気前よくプレゼント。その時の嬉しさは忘れられない」と教えて下さいました。

父が亡くなったのは早40年。正直私は父の事を思い出したことは一度もありませんでした。でもこんな形で父が私の元へ蘇って来るとは、予想すらしませんでした。在家から寺へ嫁いだ娘の行く末を、父なりに心配してくれていたのだと思うと、嬉しくなりました。これがお説教で聞いた『還相回向』とかしらと、私なりに理解しました。

浄土真宗では「往相回向」(おうそうえこう)と「還相回向」(げんそうえこう)という二つの大切な働きがあります。往相回向はこの世の命を終えた時、阿弥陀様の力で迷いのない浄土へ生まれ、仏(さとり)を開かせて頂く働



きです。還相回向とは浄土で仏となつた者が、今度は苦しんでいる私達を救済するために、再びこの迷いの世界(娑婆世界)へ還ってくる働きのことです。

冒頭のエピソードはまさしく、私の父が還相回向となつて、私の元に『縁』を繋いでくれたのだと理解しました。今まで一度も思い出したことのない親不幸な娘だったと反省しました。

もし私がお念仏の教えに出会わなかったら、父の単なる思い出話に終わっていました。今から40年前に、嫁ぎ先の寺で娘が皆さんに可愛がられるようにという父の願いを、しっかり受け取ることができたエピソードでした。



運転もOK



お悔み申し上げます

★皇田赫代様(87)5月9日亡 羽津

★森崎をとる様(94)5月13日亡

小杉二丁目

★柴田孝一様(73)5月17日亡

小杉二丁目

お知らせ

★6月25日(木)午後1時第5回『歌広場』トライアングルを迎えて、皆さんと楽しく歌いましょう。是非ご参加を！

若坊守の「コトコト日記No.138」

有り難いことに、今年度はたくさん新しい生徒さんが書道教室に仲間入りしてくれました。小学校の書写で毛筆が始まる三年生が多く入ったので、完全な初心者が多く教え甲斐があります。まだまつさらな子たちには間違つた癖がついてしまう前に正しい筆運びや姿勢を覚えて欲しいものです。低学年の子が増えたことで硬筆のおけいこも内容を更新。「コツコツ美文字プリント」なるものを手作りして、早口言葉やことわざのお手本を見て書いて練習しています。

六年生にはレベルアップした「完成！美文字プリント」です。学校で習う難しい言葉や四字熟語などを書いていきます。

どちらもお直しの数によってポイントが貯まります。貯めたポイントは図書カードに交換できます。以前も、時々プリントを用意していたのですが、「時々」は嫌がられるので「習慣」にしていまいしました。

「しりとり習字」というのもどこかの習字教室のインスタグラムで見かけたのでやってみることにしました。みんな自分の番が早く回ってこないか楽しみにしています。そんな子ども達と一緒に私もワクワクと楽しみたいと思います。



孫息子(中3)住職と同じ背丈



孫娘(小6)も坊守と同じ背丈

俳壇 & 柳壇

仏前や命日近しサクラランボ 釋妙水

泣き相撲笑いの渦や子供の日

田植済み天の青色塗りつぶす

山里の蛍の便り曇り空 釋樂邦

まほろばの五重の塔や青田風

天に伸ぶ雑木林の今年竹

七夕や平和祈願の札多し 釋妙梅

夏越しの祓え教えし友は既に亡く

伐採前生命かけ咲く百日紅

夏燕宙旋回し餌運ぶ 釋妙鈴

麦の秋青嶺のもと風渡る

山開き熊は待たずに街の中

寝入り端蚊がブーンと耳元に 釋香誼

夏至の候夕焼けお伴に畑仕事

面接室出で夕涼の階段へ 釋秀龍

軽トラのエンジン低く梅雨曇

炎屋のキッチン茶葉を二揃ひ

夏座敷軸装替えて法会かな 釋清風

若葉風頼にやさしや肩借りて

紫陽花のほのかに青き季節入り

.....

時間給上げて貰った5円だけ

スケジュール自在に変える一人旅

(い藤をか志)

☆編集子より ☆

「善正寺だより」391号をお届けします。◇視力弱く、文字が飛んでミスの多い今月号、恐縮至極です。◇今年の夏も猛暑、酷暑多き見込です。しかも暑い夏が長々と続くようで、夏を乗り越えるのも大変です。◇まもなくお盆の季節、ご恩ありしご先祖様方偲びつつ、お念仏生活を念じます。合掌。

皆さんはパンクになったことはありませんか？元巨人軍の阿部監督が娘達の喧嘩で注意して殴ったら娘は「父親から暴力を受けた」とA工に相談すると「児童相談所に電話」と返答。父親が警察に逮捕され、監督も辞める事態に発展しました。現代は困った時は何でもA工に相談と思われからですが、人間の複雑な関係や感情を考慮することはありません。中生職と坊守のつれづれ日記のブログに匿名さんからコメントがありました。夫の手術完了後の連絡を待つ時にこちらのブログに辿り着きました。私は遠方では仕事もあり手術に付き添うことはできず自宅待機。手術前に夫から「終了後医師から連絡が来る」とのメール。しかし夜遅くなっても何の連絡もなく不安な気持ちを一々耐えていました。不安でネット検索したらこちらのブログに出会いました。貴重な体験談を記載して頂き有難とうございましてという内容。10月31日に私が書いたブログを見た方からのお礼コメントでした。まさかの時には誰もか藁にもすがる思いです。そんな時だった一言で救われることがあります。AIはデータに添った模範回答をするかもしれないが、一人一人に寄り添った救いの言葉を手伝えるとは限りません。そんな時に私達のブログがお役に立ったならば、こんな嬉しいことはありません。皆様も気軽に何でも相談下さい。ところで8月15日午前8時半より「壺蘭盆会」に法要を勤め、有縁の皆様と一緒にお参り下さいませ。合掌

令和8年8月

善正寺坊守 拝